

ノーサイド

北原 巖 男

たような可愛い姿でポーズを取る沢山のコスプレイヤー。つい本物と想ってしま

う警官や自衛隊員、駅員も参加しています。自衛隊

の展示や各種写真による災害派遣活動の紹介をは

じめ、自衛隊員の募集案内等を熱く語っていました。

東ティモール大使館も、昨年に続いて参加。

彼らにレンズを向けるカメラマンの多いこと。

汗だくになりながらも、自分が選んだコスプレを自

いつぱい発信している皆さん。

猛烈な暑さの中での、そんな暑さをほるかに凌ぐこ

の熱気！

そんな皆さんに防災について関心を持っていただく

うと、コミケ会場に隣接した有明広域防災公園では、

これまでの東ティモールと各種交流について、市職員

の皆さんが精力的に発信していました。

インドネシアやトルコに比べ、残念ながら東ティモ

ールに対する認知度は、まだまだ低いと言わざるを得

ません。また、中には、お向かい

のプースに掲げられたインドネシア国旗をチラッと見

やりながら、このような問いかけをしてくるコスプレ

イヤーの皆さんもいました。

「インドネシアとの関係、大丈夫ですか？」インド

ネシアの前でヤバくありません？」

東ティモールは、1975年から24年間、一方的に併合されたインドネシア

の独立回復を目指し、同

国と激しい武力闘争を展開して今、しばらく派遣が途絶えた後のインドネシ

アからの新入生に対して、一生懸命サポートしているのは、東ティモ

ールの留学生たちです。

アシアで一番新しい国、東ティモール。そし

て現在のインドネシアとの良き隣人の関係。

コスプレイヤーの皆さんとの触れ合いの中で、

改めて発信を継続して行くことの大切さを感じま

した。そう、熱気をもっています。

こんな身近なこともあり

ます。2010年、防衛大

学校に東ティモールの留学生が初めて入学しました。

右も左も分からない彼らを、率先して面倒を見てく

北原 巖男
（きたはらいわお）
元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現（一社）日本東ティモール協会会長。（公社）隊友会理事